

参加者内訳・在籍学校



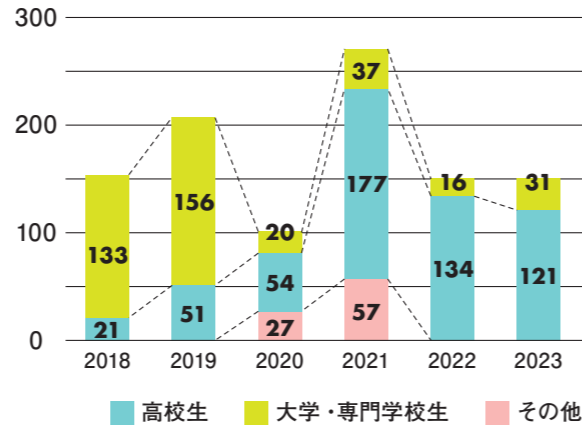
①参加者内訳

	2018	2019	2020	2021	2022	2023
高校生	21	51	54	177	134	121
大学・専門学校生	133	156	20	37	16	31
その他	0	0	27	57	0	0
合計	154	207	101	271	150	152

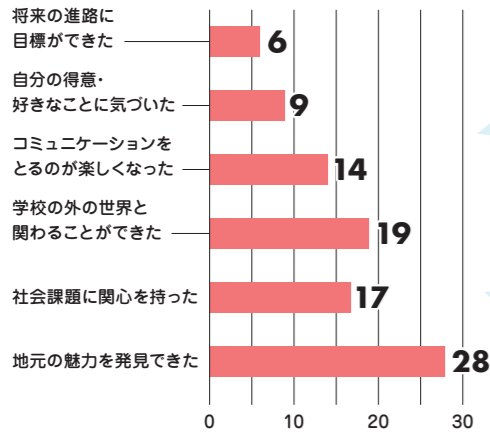
②参加者在籍学校

【高校】 県立長野高校、長野西高校、文化学園長野高校、長野日大高校、篠ノ井高校、市立長野高校、清泉女学院高校、第一学院高校、長野女子高校、屋代高校、長野東高校、長野南高校、鹿島学園高校、さくら国際高校、松本深志高校、上田染谷丘高校 など

【大学・専門学校】 長野県立大学、清泉女学院大学、保健医療大学、長野美術専門学校、信州大学、岡学園トータルデザインアカデミー など



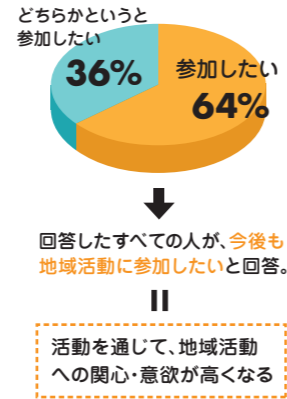
参加してみたの自分の中の変化



学校の外的世界と関わることができたか答えた人の半数以上が、「コミュニケーションをとるのが楽しくなった」と答えています！

「地元の魅力を発見できた」「社会課題に関心を持った」を選んだ人すべてが、「もっと活動したい」と答えています！

今回の活動を経て、今後地域活動に参加したいと思いませんか？



【参考】ながの地域まるごとキャンパス活動前の意識調査

●これまで地域活動に参加した経験

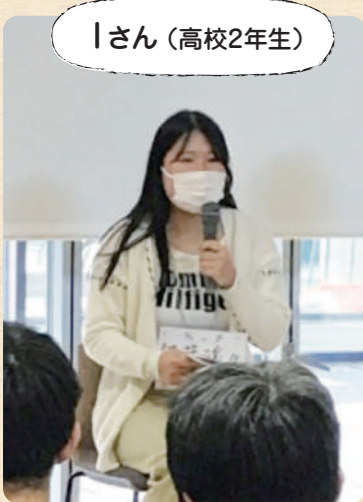
参加したことがある 48%
参加したことがない 52%

活動後の意識調査

今後どちらかというに参加したい 40%
今後参加したい 60%

これまで活動に参加したことがなかった学生のうち、半数からアンケート回答あり。全員が「今後も活動に参加したい」と回答。

ながの地域まるごとキャンパス(以下、まるキャン)に参加してみよう



Iさん(高校2年生)

寄付された古本で地域とつながり、地域課題を考えるプログラムに参加

●参加した理由は？

学校以外の他人とのつながりが欲しかった。地域のために何かやりたいけど、一からはハードルが高いが、まるキャンはスタートとしてとても入りやすい。

●やっぴいて大変だったことは？

苦手なコミュニケーションをどうしたらいいか、自分にとっての一つの挑戦だった。一言で、相手にどのように本の魅力を伝えていいか考えることも難しかった。

●参加して自分の中の変化は？

自分がどうしたいのかを考えて行動することを重ねてくれたので、自分から挑戦することができ、主体性をもつことができた。プログラムに参加したおかげで自分が新しいことに挑戦する抵抗がなくなった。やってみたら楽しく、チャレンジしてみようという勇気が出た。

●まるキャンに参加したい人への一言

最初は勇気が必要だったけど、あたたかい人が多く、自分を伸ばすことにつながる。苦手克服のチャンスなので、一歩踏み出して自分を成長させてほしい。

主催：長野市 企画政策部 企画課

問い合わせ先

ながの若者スクエア「ふらっとり」運営事務局 (ながの地域まるごとキャンパス担当)
TEL. 026-223-0051 (市民協働サポートセンター内) ✉ campus@wakamonosq.com
問い合わせ時間：月・水・金10:00～21:00、火・木・土・日・祝10:00～19:00 (第1、3水曜日休館)

まるキャンHP



ながの地域まるごとキャンパス

高校生・大学生向け 地域活動体験プログラム

2023年度 報告書

参加人数 **152人** (延べ176人)

プログラム数 **37**

参加学校数 **22校** (参加者在籍校)

目的と概要

ながの地域まるごとキャンパスは「あしもの地域=ながの」をまるごと「キャンパス」ととらえて、市民活動団体や企業などが地域活動のプログラムを提供します。学生たちは参画・体験を通じて、長野の人・自然などの魅力を再発見します。また、自分も地域の一員であるという「主体性」、人(地域)の役に立っている・認められるという「自己肯定感」が育まれることを目指します。そして、100年先も住み続けたい長野を目指す一人の市民としての自覚につながります。

ながの地域まるごとキャンパスのPOINT!

POINT 1

各プログラム 3日以上参加すること!



POINT 2

企画から参加します!

人手要員ではありません。



POINT 3

企画から・仲間の一人となって参加すること

誰かがやってくれる!ではなく自分からやっぴいていく!



POINT 4

募集中のプログラムであればいつでも申し込み可能

